



会 長 挨拶

南山会会長

小 林 進

南山会会員の皆様には日頃から同窓会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年に続き会長を務めさせていただいている小林進です。

今年になってコロナウイルス感染症が2類から5類になり少しは医療従事者の負担は減っているのかと期待していましたが感染症そのものが終息したわけでもありませんし新たな感染症が増加する等、益々会員の皆様の業務が増えて頑張っておられると思います。

そして、「医師の働き方改革」が始まり会員の皆様はより多くの業務が任されるようになり「働き方改革」を実感していると思われます。そこでこの度の会報のテーマとして「私の感じた働き方改革」を取り上げて頂きました。

過去に「ワークライフバランス」・「タスク・シフト／シェア」をテーマとして取り上げて頂きましたが、今回それらを含めた広い意味でのテーマを取り上げて、会員皆様の普段感じることを執筆していただける内容になると思います。

それから、同窓会「南山会」の会務も現在はほとんどの役員が現役で働いている方で忙しい業務の中会務を担当していただいておりますが、今後は同窓会活動にも「働き方改革」の考えを入れて効率的な運営を実施していく所存です。既に代議員会で承認されたワーキンググループを立ち上げ、少しずつではありますが改革を進めていく予定です（例えば会報のHP 閲覧等）ので会員の皆様には、より一層のご理解と協力をお願いいたします。

轍迹（てつせき）とは…

車のわだちの跡、馬の足跡、物事のあとかたの意で多くの先輩たちが通った跡、母校の歩み、のような意味合いを込めています。



ごあいさつ

新潟大学医学部保健学科長
新潟大学大学院保健学研究科長
住吉 智子

寒さが増すこの季節、後援会の皆さまにおかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より、保健学科および保健学研究科に対する多大なご支援に、心より感謝申し上げます。

皆さまの温かいご協力のおかげで、教育環境の充実や国家試験対策の支援、就職活動のサポート、抗体検査、卒業祝賀会、さらには国際交流推進に至るまで、数多くの取り組みを実現できています。

医学部保健学科の設置から早25年、今年は新潟大学創立75周年という節目の年でもあり、後援会の皆さまと築いてきた絆の深さを改めて感じる一年となりました。数々の記念行事やプロジェクトへのご支援に、改めて御礼申し上げます。

さて、少子高齢社会の進行による人口構造の変化は激しく、医療の高度化・複雑化や医療技術の進歩等、医療系専門職を育成する養成所の指定規則は改正が行われております。2020年4月から、3専攻それぞれがカリキュラムを改正し、現在は3年次生が、新しいカリキュラムで学んでおります。今回は、そちらについてご紹介をさせていただきます。

看護師養成の新カリキュラムでは、統合分野にあった「在宅看護論」は、「地域・在宅看護論」へと名称が変わり、「基礎看護学」の次に位置付けられました。この理由として、すべての療養者が住み慣れた地域で人生の最期までその人らしく、居心地よく暮らせる社会の実現が求められるようになったからです。この地域看護・在宅看護の考え方が非常に重要になることから、本学は新たに、アーリー・エクスポージャーとして佐渡を実習地とする新潟地域看護学実習は、看護学専攻2年次生が実施することになりました。

診療放射線技師養成の新カリキュラムでは、国民の医療へのニーズの増大と多様化、チーム医療

の推進による業務の拡大等により、診療放射線技師に求められる役割や知識等が変化していることを受け、教育内容の大幅な追加が行われました。それにより、「医用」という用語ではなく、主体を「医療」として、それを冠につけた科目名が多くなったこと、造影剤及び空気注入の手技に関する能力の実践的な学習の必修化として「実践臨床画像学」の科目の新設が行われました。

また、臨床検査技師養成の新カリキュラムでは、国民の医療へのニーズの増大と多様化、新たな検査項目の登場、検査機器の高度化など、臨床検査技師を取り巻く環境が変化するとともに、求められる役割や知識等も変化していることを受け、教育内容の大幅な追加が行われました。感染管理及び医療安全とともに、患者接遇にも配慮できる能力を身につけることを追加した「医療安全管理学」が1単位から2単位に増加したこと、救急、病棟、在宅等や健診、衛生検査所等での役割と業務、施設内のチームの役割と実施内容を理解することを必修化した臨地実習が7単位から12単位に大幅に増加したことが挙げられます。このように、医学の進歩とともに、時代に対応した次世代の医療従事者を育成していくことが求められています。

現代の医療では、チーム医療の推進とその中核を担うリーダーの存在が不可欠です。本学では、学科間の連携を深めた教育体制を強化し、より広い視野を持つ医療人材の育成に取り組んでいます。

今後は大学院の改革も視野に入れ、さらなる進化を遂げていく所存です。保健医療分野の発展に貢献するため、一同、全力を尽くしてまいります。

最後に、後援会の皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特集Ⅰ：「私の感じた働き方改革」（先生の仕事、家庭、趣味等への影響）

令和6年4月より「医師の働き方改革」が施行されましたが、医療従事者である私達も「働き方改革」が実施されつつあります。その中で各専攻主任の先生方から「働き方改革」について思いつくままの感想を頂きました。

私の感じた働き方改革

看護学専攻 専攻主任 中村 勝

私は労働時間自己管理（自己申告）のもとで仕事をしてきましたので中小企業・小規模事業者に求められるような「魅力ある職場にすれば、人材確保ができ、業績が向上し、利益増の好循環がつかれる」といった実務的な認識よりは「働く人の置かれた事情に応じて多様な働き方を選択できる社会を目指すもの」という概念的な理解をしてきました。働き方改革の狙いは労働力不足の解消であり労働生産性を改善することです。その一つに多様な働き方の容認・創出があり障害者の活躍促進などが出てきます。私は大学業務の傍ら就労継続支援施設の運営にかかわって来ましたので働き方改革が進み、働く人たちの就業機会が拡大すると様々な課題解決につながると考えますが、同時に働けない人を排除せず包摂される社会をつくっていくことが大切になると感じています。

働き方改革がめざす方向性は『持続可能な開発目標（SDGs）』の理念や「目標8：働きがいも経済成長も」と親和性が高いと私は認識していますが、

その7番目のターゲット（達成目標）に「むりやり働かせること、奴隷のように働かせること、人を売り買いすることを終わらせるために、効果的な取り組みを緊急におこない、子どもを兵士にすることをふくめた最悪の形の児童労働を確実に禁止し、なくす。また、2025年までに、あらゆる形の児童労働をなくす」というものがあります。かつて途上国支援にかかわっていたころ、食堂の雑役、小物店の売り子、道端の果物売りなどで児童労働をよく見かけました。初等教育を受けていないので将来も貧困から抜け出すことが困難な子どもです。また、子どもを兵士として働かせることは無感情に殺戮を繰り返す大人をつくり出す問題としてさらに深刻です。このように働き方改革は世界各国の現状に応じて多様な問題が扱われています。その人の置かれた事情・環境によってもメリット・デメリットが異なってくるので相互理解が必要だと感じています。

働き方今昔

放射線技術科専攻 専攻主任 高橋直也

私は、昭和63年に新潟大学医学部（当時）を卒業し、医師として働いてきました。当時は、「24時間たかーえますかー？ ビジネスマーン、ビジネスマーン！」（「勇気のしるし」三共リゲインCMソング）が流行語大賞にノミネートされるような時代でした。世の中全体がそのような雰囲気でしたから、医療職には勤務時間の概念はほとんどありませんでした。朝7時から夜12時過ぎまで病院にいることは珍しくはありませんでした。ビデオデッキがやっと一般に普及してきたころで（初めての月給で買ったビデオデッキは14万円でした）、休日にはレンタルビデオを見たりして過ごしました。ただ、お店が夜11時までしか営業していなかったため、借りてきたビデオテープを返却することができずに、延滞料を払うこともしばしばでした。家に居ながらにして、サブスクで何万ものコンテンツを見られる現在とはだいぶ違いますね。

そんな時代ではありましたが、全体がのんびりして、ゆるかった気がします。さまざまなデジタ

ル技術が導入され始めたころで、コンピュータの性能も今よりずっとプアでした。（現代のパソコンのCPU演算性能は当時の10万倍だそうです。）作業はアナログがほとんどで、すべてに時間がかかりました。仕事のひとつひとつに時間がかかるため、実際に行える作業はそれほど多くはありませんでした。

現在はさまざまな技術が発達し、すべてが効率的になりました。その反面、時間当たりの仕事量が増え、デジタル特有のち密さが要求されるようになっていきます。自分自身でも当時と同じ感覚で働くことはとても無理だと感じます。新しい働き方に移行することは当然です。オンとオフをきちんと使い分けることが必要になってきます。

この数十年で、世の中は大きく変わりました。デジタル技術の発展はますます加速していきます。こうした技術の発達が生活の質の向上に役立し、個人が生き生きと生活できる世の中になってほしいと願っています。

●住所変更について

会報や催事案内などを送るために登録されている住所が変更された場合や改姓された場合は、登録変更手続きをして下さい。

会報発送に際しては郵便の転送サービスが受けられませんので、必ず変更手続きをお願いします。

登録変更は、南山会ホームページ(右QRコード)からの手続き又は名簿管理を委託している(株)DI Palette への手続きをお願いします。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

* (株)DI Palette に直接連絡する場合

連絡先：(株)DI Palette 南山会名簿担当者 宛

TEL：025-283-3785 FAX：025-282-1776

連絡内容：氏名、所属分会、卒年、会員番号(封筒宛名シールに印刷されています)、変更内容。

※(株)DI Palette は、個人情報保護法の施行に対応するため、財団法人日本情報処理開発協会のプライバシーマーク取得及びISMS認証基準に適合。個人情報保護体制を確立しています。



働き方改革で思うこと

検査技術科学専攻 専攻主任 佐藤 英世

大学教員になって30年近くになるが、この間、働き方改革という視点で自身の仕事を考えたことはなかったかもしれない。最近、世間で声高に叫ばれている働き方改革は、例えば、医師などの医療従事者や小・中学校の教員、運送業者など様々な職種で長時間労働が問題視されていることが端緒だと思われる。

大学教員は、いわゆる裁量労働制の職種であるため、決められた時間に行う講義・実習や会議など以外の時間は、比較的自由に使えると思われるかもしれない。たしかに就業開始時間は、それほど厳格ではないし、休憩時間もある程度自由に設定できる。それでも、空き時間にすることは、講義・実習などの準備、研究室に所属する学生たちの研究指導、研究立案や論文執筆、関連分野の論文調査などの研究活動、研究費申請書や各種事務書類の作成、大学運営に係わる委員会活動や入試業務、その他、言うてはいけませんが雑用と言いたくなるような諸々の用事。これらをこなすには、1日8時間の労働ではとても足りない。結局、定

時の講義・実習や会議以外の時間は、やるべきことが満載で、どれからやるかを定める程度の自由度しかない。教員駆け出しのころは、朝から業務をこなし、夜中過ぎまで実験に従事するというのが日常だった。ほとんどの土日・休日も大学に来て何かしらの仕事をしていた。さすがに今は、そのような気力・体力はないが、週末や休日も大学で仕事をする頻度は、あまり低下していないように思う。若いころと比べて仕事の中身が変わっただけで、長時間労働は相変わらずである。

ということで、私のような大学教員は、しっかりと働き方改革をする必要があるのかもしれない。では、どうしたらいいか？ 試しに ChatGPT に聞いてみると、もっともらしい答えが返ってきた。結局、どの職種にも言えることだと思うが、集中力を発揮して仕事の効率を上げるとともに、休むべき時に休んで、さらに集中力を養うことが肝要、ということか。これが、昔も今も働き方の極意なのだろう。



特集Ⅱ：「私にとっての働き方改革」について

特集Ⅰ同様、会員の皆様にとっての「働き方改革」をどう思っているか、職場、家庭で実施している皆様の「働き方改革」について執筆いただきました。

職場と家族に支えられた育児支援期間を振り返って 「おたがいさま」と「ありがとう」に支えられた5年間

新潟大学医歯学総合病院 看護師 福島 雅子

私は2002年現在の職場に就職し、主に内科病棟の勤務を経験しながら、呼吸療法認定士や栄養療法認定士などの資格取得、院内のチーム活動への参加を経て、2017年に第一子を高齢出産し、産休育休を経て2019年に育児支援を利用しての短時間勤務に復帰しました。2023年に子どもが小学校入学、フルタイム勤務に復帰し夫と協力しながら、ベビーシッターを利用して小1育児と仕事の生活を続け、現在第2子の育休中です。

育児支援を利用して仕事をしていた当初は、子どもの為に、今の働き方を続けてよいのか迷いそして悩みました。現在の職場で仕事を続けられたのは、家族のサポート以上に職場での働き易さがあったからだと思います。私の職場には、勤務内に、協力しあって仕事を補完しあう「おたがいさま」の雰囲気がありました。例えば、経験をもとに時間内に効率よく指導ができるように一緒に考えたり、難しい患者さん対応をしたりなど、自分の経験が活かして充実感を持てる補完、逆に、若いスタッフの体力と気力、経験では感じ取れない気づきに助けられた事もありました。一部の年代にだけ負担がかかるように感じさせない業務の補完ができる職場での復帰が、私にとっては一番の気持ちの支えと助けになったと思います。そんな5年間を過ごしフルタイム勤務に復帰、娘も私の仕事が看護師だということを理解してくれるようになりました。

ある日、小1の娘に「ママはどうして夜お仕事

に行かないといけないの」と聞かれました。夜勤が理解できず、そばに居てほしい娘の本音でした。そんな時、本屋さんで「よるのあいだに」という絵本に出会いました。初めて読んであげた時のタイトルを聞いてびっくりしたような娘の顔は、今でも良い思い出です。夜勤に出かける日「行ってらっしゃい、頑張ってね」と泣かずに送り出してくれるようになりました。しばらくして、娘から「ママが人のためにおしごとしていることが好き」と言葉ももらいました。娘が理解してくれた言葉にすごく嬉しかった事は、今でも大切にしています。

結婚も子育ても人生の一時期です。子育てが終わった時、今の仕事を続けてきてよかったなと思えるよう「働き方を工夫しながら続けていきたいなと思える仕事」私にとって看護師の仕事はそんな職業になりました。今まで支えてくれた人々に感謝して、日々過ごしていきたいと思っています。



私にとっての働き方改革

済生会新潟病院 診療放射線科 八巻 諒 人

働き方改革とは、単に長時間労働をなくし、有休を取得することだと捉えていました。病院業務はテレワークには向かないしなど、自分にはあまり関係ないことだと考えていました。

私の仕事への取り組み方は、指示されたことを深く考えずに教わった通りにこなすというものでした。しかし数年前に1つのモダリティの専従になり、少しずつ意識が変わり始めました。もっと工夫ができたのではとか、ほかの施設ではどうしているのだろう、と仕事のうえで考え、悩む場面が増えてきました。勉強会に参加する際も、単に知識を得るためだけでなく、自施設でも活かせるかという視点で講義を聞くためか、内容が頭に残るようになりました。必要に迫られてという部分が大きいですが、以前よりも主体的に取り組むようになり、同じ仕事をしていても充実感が得られています。

私生活に関しても、趣味がなく、ほとんど有休

を取らずに、土日も無為に過ごすことが多かったのですが、数年前にバイクを購入してから変化がありました。時には一人で、時には先輩と休みを合わせ少し遠くにツーリングに出かける日ができました。元々出不精で、勤務中も窓が少ない環境にいるため、外にでて海や山といった自然を感じられるのはよい気分転換となっています。先輩とのコミュニケーションの機会が増えたことで、信頼関係が築け、職場の雰囲気にもいい影響を与えてくれていると思います。

私の職場環境が元々恵まれており、働きやすいという前提がありますが、仕事に取り組む姿勢やよい人間関係を築くことも働くうえで大切であり、そのことが自身の充実感につながってくるのだと思います。この気づきを大切に、今後も生活全体が豊かになるよう、いい方向に自分を変えていきたいと思っています。



私に合った働き方

キヤノンメディカルシステムズ(検査技術科学専攻2018年度卒) 山本美季

働き方改革という言葉を知ると、長時間労働の改善やサービス残業の廃止、ワークライフバランスなどの言葉が浮かびます。私の卒業時には既に働き方改革という言葉が広まっており、COVID-19の流行を経て、更に改革が進められたと感じています。

私は、医療機器メーカーでアプリケーション担当をしています。主な業務は、医療機関に訪問し、医師や技師に向けた製品のPR、装置の取扱説明や立ち合いながらの設定、納品後のフォローなどです。病院での勤務経験はありません。私にとっての働き方改革は、検査技師が選べる職業選択の幅が広がったことです。

働き方改革という視点で、アプリケーション担当として働くメリットとしては、夜勤がないことや勤務時間中の裁量が大きいことがあります。フレックス勤務やリモートワーク制度を活用しながら、訪問以外の時間は比較的自由に行動を決める

ことができます。デメリットは、予定調整が自分の都合では決められないことです。訪問時間はお客様に合わせる必要があります。朝6時前に家を出なければいけない日もありますし、予定通りに帰宅できない日もあります。出張で自宅に帰ることができない日も多いですが、出張先で美味しいものを食べることが仕事に対するモチベーションなので、苦にはなりません。

私にとっては当たり前の日常ですが、この働き方は普通ではないかもしれないと思う出来事がありました。上司の娘さんが、臨床検査技師資格を取得予定で、就職先としてメーカーを挙げていたそうです。私は何の疑問も抱かず賛成しましたが、上司は、「もっと普通の働き方をしてほしい」と言いました。ここで初めて、人によって合う働き方は違うという事実を認識しました。

自分に合った働き方を選択できるという自由が、私にとっての働き方改革です。



新潟で過ごした4年間

看護学専攻4年 干田 遥 希

県外で生まれ育った私にとって、初めての一人暮らし、新しい友達、そして初めての雪国。不安もありましたが、新潟での4年間は、想像以上に最高の時間でした。

私は助産師に憧れて看護学専攻に進学しました。看護学を学ぶ日々は充実しており、医療者への道を進んでいるという喜びがありました。一方で、実習では臨床の看護師さんのスキルの高さに圧倒されたり、患者さんとの関わり方に悩んだり、将来への不安を感じることもありました。それでも、志が高く優しさに溢れた心強い仲間たちと助け合い、困難も乗り越えることができました。実習を通して、看護師は患者さんの病気だけでなく生活背景も理解し、ご家族にも寄り添いながら、多職種で連携してより良いケアを提供する役割を担っているのだと学びました。コロナ禍で様々な制限がある中で、先生がたや臨床の指導者の方々、患者さん方にご協力いただき実習ができたことに心から感謝申し上げます。

また、サークル活動でも様々な思い出ができました。高校時代に熱中していたダンスを大学でも続

けたいと思い、ダンスサークルに所属しました。踊りが上手な仲間たちから刺激を受けたり、コンクールに出場したり、多くのお客さんがいる広い舞台上で照明を浴びながら踊る機会をいただいたりと、ダンス好きにはたまらない貴重な経験ができました。

さらに、新しい挑戦がしたくて所属した手話サークルでは、手話のスキルが身に付いただけでなく、イベントを通して新潟の良さを沢山知ることができました。夏には海でバーベキューやスイカ割り、花火などを楽しみました。冬にはスノーボード。今までウィンタースポーツをしたことがなかった私ですが、1年生の時に先輩に連れて行っていただいてから夢中になり、以降、毎年欠かさずスキー場に行くようになりました。新潟での生活を誰よりも満喫していたと思います。

卒業後、私はまた新たな環境に身を置きます。期待も不安もありますが、これまでの学びを糧に今後も常に学び続け、自分が目指す助産師像に向かって自己成長を図っていきたいです。

近い将来、それぞれの道で活躍する仲間たちに会えることを楽しみにしています。



ダンスサークルの発表会
1日に8曲踊ったこともありました！



手話サークルでのスイカ割り
海で見る夕日と相性抜群です！



手話サークルでのスノーボード
滑れるようになるのととても楽しいです！

大学生活での成長と思い出

放射線技術科学専攻4年 後藤洋介

卒業を控えた今、大学生活を振り返ってみると、多くの人と出会い、多くのことに挑戦し、人としてとても大きく成長できた4年間であると感じます。

私たちが入学したときは、COVID-19による制限が徐々に緩和され、大学では対面授業と遠隔授業がどちらも行われているという状況でした。その中で私たちは自分たちで物事を考え、臨機応変に行動することを強く求められた世代であると考えています。1、2年生の頃は数少ない対面授業を楽しみにしながら、家事や自炊などのスキルを高めていましたが、3、4年生の頃にはだいぶ制限の緩和は進み、放射や部活の友人たちと趣味や旅行をするなど大学生らしい生活をおくりたくさんの思い出を作ることができました。

また、魚が好きであったことから始めた寿司屋のアルバイトでは日常ではなかなか得られない経験を積むことができました。高級店であったため、接待や記念日での利用が多く、とても責任重大な

仕事でした。私はミスをしてしまったときの、大将の「ミスは仕方ないから、ミスをした後にどう対応するかが大切だよ」という言葉が心に残っています。それを機に、「ミスの後のお客様への対応」や「再度繰り返さないための対応」を大切にしています。これは、放射線技師として働いていくうえでも生かしていきたいです。余談ですが、店長に辞めるとき「1年半あつという間だなー、お疲れ様」と言われたときは、ちょっと泣きそうになりました。

最後になりますが、書きながら改めて大学生活4年間を振り返ると学業よりも友人たちとのくだらない思い出がやっぱり多かったです。4年間ご指導いただいた先生方、そして一緒にバカなことをやった友人や部活のみなさんのおかげで大きく成長することができました。本当にありがとうございました。



大学生活で学んだこと

臨床検査技科学専攻4年 萬田 勇斗

私が大学に入学した時期は、依然としてコロナウイルスの影響が大きく、特に、1年次は非対面授業が続き、実際にキャンパスで学び合う機会がほとんどありませんでした。また、友人との交流や部活動等の課外活動も大きく制限されていました。私は柔道部に所属しており、1年次は全学部柔道部、2年次以降は医学部柔道部で活動していました。コロナ禍により、部活動の多くが制限される中、人との接触機会が多い柔道のような競技は、特にその影響が大きいと感じました。多くの部活動において制限が緩和され、大会が再開される中、柔道部の活動や大会は制限され続けることにより思うような活動ができませんでした。しかし、限られた環境下でもできることを模索し、個人トレーニングや少人数での練習を続け、3年次の夏には東医体に参加することができました。試合の機会こそ少なかったものの、柔道を通じて体力や精神力を養うことができ、また、仲間とのつながりや、限られた環境下で工夫することの重要

性を学んだことは、今後の人生にも役立つと感じています。

4年次の病院実習では、講義で得られた知識だけではなく、実際の現場で求められる技術や対応力の重要性を学びました。特に、生理検査実習では、心電図検査や呼吸器検査で実際に患者さんに触れ、検査の説明をする必要があり、特に緊張や不安を感じました。しかし、それと同時に、患者さんの命に直接関わる仕事であるという責任感をより強く感じました。

4年間を振り返ると、コロナ禍という予期せぬ困難がありましたが、それを乗り越えたからこそ、自分の成長を実感することができました。今後、医療技術はさらに飛躍的に発展し、臨床検査技師として求められるスキルは変化し、常に新しい技術や知識を学び続ける姿勢が求められます。大学生活で学んだことを活かし、日々研鑽を積み、社会に貢献できる臨床検査技師でいられるように努力していきたいです。



新潟大学医学部 保健学科同窓会 「南山会」第41回代議員会報告

「特例により書面による会議」の書面評決とした。

議 事

第1号議案：令和5年度 活動報告

1. 総括

令和5年度事業及び会務の運営は、第40回代議員会において承認された事業計画に基づき執行された。代議員各位のご理解と担当役員の努力、協力により滞りなく執行された。

2. 概要

(1) 会報「轍迹」(第39号)の発行

会報「轍迹」第39号は、令和6年3月に発行した。
印刷総数は7,700部、配布詳細は以下の通りである。

	発行数	返送数
ときわ会	3,474	21
旭会	1,485	67
砂山	1,516	82
教職員・卒業生・在学生・残数	1,225	-
総数	7,700	170

(令和6年5月30日現在)

(2) 同窓会「南山会」のアピール活動

- ①令和5年1月 会費未納者(卒業年度生、新編入生、新大学院生)に会費納入のお願いを送付した。
- ②南山会のホームページを適宜更新した。
- ③令和6年3月25日(月) 新潟大学卒業式が朱鷺メッセで行われ小林会長が出席した。
- ④令和6年4月3日(水) 新潟大学入学式が朱鷺メッセで行われ小林会長が出席した。

(4) 全学同窓会への参加・協力

全学同窓会・交流会の幹事同窓会であったので「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」のマネージャー稲川欣也氏と、保健学研究科の住吉智子教授から講演をいただき、懇親会も盛大に行われた。

その際には、小林会長・上田副会長・渡辺副会長が幹事として活躍した。

全学同窓会広報「雪華」及び大学カード入会案内・賛助会費依頼を南山会会報「轍迹」送付時に同封した。

(5) 母校の教育催事等への協力・援助

- 保健学科に例年通り寄附をした。

第2号議案：令和5年度 決算報告

会計より令和5年4月1日から令和6年3月31日、までの収支決算について報告された。

第3号議案：監査報告

監事外山貴子、五十嵐実花子が報告を行った。書面評決の結果、全会一致で可決決定された。

第4号議案：令和6年度 事業計画案

会長より、令和6年度事業計画について以下の説明があった。

- ① 会報「轍迹」第40号の発行
- ② 同窓会のアピール活動
- ③ 全学同窓会交流会への参加・協力
- ④ 母校の教育催事等への協力・援助
- ⑤ 保健学科学友会活動に対する支援
- ⑥ 保健学科学生(準会員)との交流会
- ⑦ その他
 - 1) 会報バックナンバーのホームページ掲載…個人情報保護法の問題で保留中
 - 2) 事務局立上 ワーキンググループによる事務業務の整理・効率化の検討継続、保健学科教員・事務との連携を検討。

第5号議案：令和6年度 予算案

予算案はおおむね前年度に合わせて作成した。

書面評決により第4号議案、第5号議案を承認した。

(3) 保健学科学生(準会員)との交流会

令和5年度開催

	実施日	会場	参加人数
ときわ会 「先輩と語る就職のあれこれ」	令和5年 7月14日	医療人育成センター セミナー室	学生20名 卒業生8名 (看護師4名、助産師2名、保健師2名) 役員8名
旭会 「病院施設説明会の開催」	令和5年 5月12日	新潟大学保健学科 D41講義室	1~4年、学生数十名 講演施設講師8名、旭会役員4名
砂山 「先輩と話をする会」		令和6年7~9月実施予定	

令和5年度決算報告

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

(単位：円)

収入の部

項目	予算	決算	決算-予算	備考
前年度繰越金	5,919,612	5,919,612	0	
会費収入	4,170,000	4,170,000	0	3万×139名 看護72名 放射33名 検査34名
寄付収入	0	0	0	
預金利息・他	23	105,836	105,813	(含 DI Palette からの返金)
合計	10,089,635	10,195,448	105,813	

支出の部

(単位：円)

項目	予算	決算	予算-決算	備考
名簿管理	250,000	38,500	211,500	DI Palette、未実施 初期10万円 + 年間15万円
会報印刷	650,000	508,200	141,800	印刷代
会報送付	1,100,000	1,200,210	△ 100,210	封筒代・宛名シール・封入・送料
ホームページ	100,000	23,210	76,790	ドメイン代・HP管理費
新入生	50,000	52,514	△ 2,514	入会案内・個人情報取扱・払込用紙
事業・補助・ときわ会	920,000	920,000	0	交流会補助費20万円、分会事業費72万円
事業・補助・旭会	420,000	420,000	0	交流会補助費10万円、分会事業費32万円
事業・補助・砂山	440,000	440,000	0	交流会補助費10万円、分会事業費34万円
全学同窓会負担金	400,000	397,815	2,185	
全学同窓会交流会	15,000	45,000	△ 30,000	全学同窓会交流会参加費
寄付(保健学科)	500,000	500,000	0	
寄付(他)	0	0	0	
渉外	0	0	0	お中元・お歳暮
会議・人件費	10,000	6,360	3,640	
事務局・人件費	560,000	0	560,000	未実施
旅費	50,000	0	50,000	
手数料(振込・他)	3,480	3,490	△ 10	
振替払出明細表	3,850	3,850	0	振替受払通知票 1通110円
会費返金	30,000	30,000	0	
予備費	4,587,305	0	4,587,305	
小計	10,089,635	4,589,149	5,500,486	

当期収支決算 = 当期収入 - 当期支出
 △ 313,313 4,275,836 4,589,149
 次年度繰越金 = 前年度繰越金 + 収支差額
 5,606,299 5,919,612 △ 313,313

令和6年度予算

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

(単位：円)

収入の部

項目	今年度予算	執行済	執行済-予算	備考
前年度繰越金	5,606,299	5,606,299	0	定額貯金 370万
会費収入	3,780,000	3,780,000	0	3万円/人
寄付収入	0	0	0	
預金利息・他	23	10	13	預金利息
合計	9,386,322	9,386,309	13	

支出の部

(単位：円)

項目	今年度予算	執行済	予算-執行済	備考
名簿管理	250,000	38,500	211,500	DI Palette、初期10万円 + 年間15万円
会報印刷	533,610	533,610	0	会報39号 7,700部×63円
会報送付	1,690,768	1,690,768	0	封筒代・宛名シール・封入・送料
ホームページ	100,000	0	100,000	ドメイン代・HP管理費/要改修の報告あり
新入生	50,000	0	50,000	入会案内・個人情報取扱・払込用紙
事業・補助・ときわ会	840,000	0	840,000	交流会補助費20万円、分会事業費64万円
事業・補助・旭会	400,000	0	400,000	交流会補助費10万円、分会事業費30万円
事業・補助・砂山	420,000	0	420,000	交流会補助費10万円、分会事業費32万円
全学同窓会負担金	400,000	0	400,000	全学同窓会負担金
全学同窓会交流会	15,000	0	15,000	全学同窓会交流会参加費
寄付(保健学科)	500,000	0	500,000	寄附(保健学科)
寄付(他)	0	0	0	
会議・人件費	10,000	0	10,000	会議費・人件費
事務局運営費	600,000	0	600,000	事務局運営に関わる外注、協力金
旅費	50,000	0	50,000	出張費
手数料(振込・他)	3,480	880	2,600	振込手数料など
振替払出明細表	3,850	3,850	0	ゆうちょ振替払出明細表代
コンビニ支払い代行	60,000	0	60,000	電算システムへの依頼を検討中
会費返金	0	0	0	2重払いへの返金
予備費	3,459,614	0	3,459,614	
小計	9,386,322	2,267,608	7,118,714	

当期収支予算 = 当期収入予算 - 当期支出予算
 △ 2,146,685 3,780,023 5,926,708
 次年度繰越金 = 前年度繰越金 + 当期収支予算
 3,459,614 5,606,299 △ 2,146,685

分会からのお知らせ

皆様からの意見、要望を受け付けています。分会またはホームページまで連絡をお願いします。

連絡先

「ときわ会」

○ときわ会総会

第15回ときわ会総会及び特別講演会開催

日時：令和6年6月1日(土)

会場：ANAクラウンプラザホテル新潟

総会：13:00～

特別講演：14:00～15:00

講師 新潟薬科大学 看護学部 看護学科教授 定方美恵子先生

「今、看護職員として目指していきたいこと」

○先輩と語る会

日時：令和6年7月23日(火) 18:00～19:00

場所：医療人育成センター セミナー室1・2

参加者：新潟大学医学部保健学科看護学専攻 学生16名

新潟大学医歯学総合病院 看護師4名 助産師2名

新潟市保健所 保健師2名

上記の通り開催し 学生16名 先輩8名でした。

「砂山」

○「第18回日本臨床検査教育学会学術大会が2024年

8月23・24日に保健学科で開催され、「砂山」も

協賛団体として参加いたしました。

○学生への教育援助をいたしました。

○「砂山」役員

会長 小林 進 (自宅)
副会長 阿部 康彦 (自宅)
書記 清野 俊秀 (自宅)
会計 菅井 綾里 (医歯学総合病院)
会計監査 外山 貴子 (自宅)



「旭会」

○活動内容

- 令和6年度第1回役員会をメール会議にて開催(5月)
議事：令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、令和6年度予算案、令和6年度事業計画案、令和6年・7年度役員選挙について
- 令和6年度第1回代議員総会をメール会議にて開催(6月)
議事：令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、令和6年度予算案、令和6年度事業計画案、令和6年・7年度役員選挙について
- 臨床実習における感染対策として、マスク、アイシールド、消毒剤を寄付した。
- 令和7年2月10日に施設説明会(県外・企業)をWebにて開催した。
- 保健学科放射線技術科学専攻に対し20万円の寄付を行った。
- 旭会研究会派遣助成申請に対し、3名の学生への助成を行った。
- 令和6年度卒業生へ卒業記念品を贈呈した。
- 「旭会」役員
会長 成田 信浩 (新潟市民病院)
副会長 近藤 達也 (新潟大学)
副会長 能登 義幸 (新潟大学医歯学総合病院)
幹事長 神田 英司 (新潟市民病院)
会計 山田 由美 (済生会新潟病院)
会計監査 小林 功 (済生会新潟病院)
上田 弘之 (新潟ウェルネス)

全学同窓会への支援のお願い(賛助会費と協賛個人会費)

全学同窓会は、新潟大学への支援、および新潟大学への支援を通じて社会への貢献を目的に活動しています。新潟大学卒業生や交友会員からの場合には賛助会費(年一口2,000円。何口でも)、個人(市民)からの場合には協賛個人会費(年3,000円)で、全学同窓会への支援を受け付けています。郵便振込「口座番号00550-8-59079新潟大学全学同窓会」宛のお振込をお願いします。新潟大学カードで自動引き落としを選択していただいても結構です。支援者には、全学同窓会からの各種ご案内や特典を用意しております。

南山会 HP

保健学科:<http://www.nanzankai.org/>

「南山会 新潟大学」で検索して下さい。



「南山会」役員・監事名簿(令和6年度)

役職	氏名	勤務先
会長	小林 進	自宅
副会長	上田 弘之	新潟ウェルネス
	渡辺ひとみ	新潟大学医歯学総合病院
	金子 拓志	県立がんセンター新潟病院
幹事長	須貝 美佳	医学部保健学科検査技術科学専攻
総務部	成田 信浩	新潟市民病院
	竹中 明美	新潟大学医歯学総合病院
会計部	近藤 達也	医学部保健学科放射線技術科学専攻
	新保明日香	新潟大学医歯学総合病院
編集部	坂井 裕則	新潟大学医歯学総合病院
	近 文香	新潟大学医歯学総合病院
	石塚 爽香	新潟市民病院
監事	五十嵐実花子	新潟大学医歯学総合病院
	外山 貴子	自宅

編 集 後 記

令和6年は、新潟大学創立75周年の記念すべき年でした。10月には、同窓会役員としてANAクラウンプラザホテル新潟で行われた記念式典に参加し、多数の海外招待客、美味しいお食事、芸妓の舞と、とても華やかな気分を味わいました。新潟大学の歴史や魅力に触れ、母校の誇りを改めて感じた一年でした。

近文香 筆

令和7年3月発行

発行所 新潟市中央区旭町通2番町746
新潟大学医学部保健学科
同窓会「南山会」
発行者 小林 進
印刷所 株式会社 DI Palette